

## 活気あふれる公共施設に 図書館・公民館をご利用ください

皆さんにより一層ご活用いただくため、図書館と公民館で4月1日から一部ルールを変更します。

### 図書館で学ぶ、図書館でチョット仕事

図書館をもっと身近に感じてもらうため、市内全ての図書館に自由学習スペースを設けます。これまで図書館では、飲食もできませんでしたが、このスペースでは、飲食(アルコール類は除く)もできます。ぜひ、静かで落ち着いた中で宿題やテスト対策などにご利用ください。また、ワーキングスペースにもご利用いただけます。

#### 【設置座席数】

- 水口図書館……18席
- 土山図書館……16席
- 甲賀図書情報館…24席
- 甲南図書交流館…30席
- 信楽図書館……16席



問合せ ☎・FAX 26ページ参照

### 公民館をより使いやすい 交流の場に

市内公民館は、これまでも多くの皆さんの交流の場としてご利用いただいています。さらに利便性を高めるため、4月1日からは、市内全ての公民館での飲食(アルコール類は除く)ができるようになります。これからも多くの皆さんの交流の場としてご利用ください。

※各施設の利用申請、各利用室の詳細については各公民館まで



#### 問合せ

- 水口中央公民館 ☎62-0488 FAX 62-3338
- 土山中央公民館 ☎・FAX 66-0158
- かふか生涯学習館 ☎88-4100 FAX 88-5055
- 甲南公民館 ☎86-3036 FAX 86-8119
- 信楽中央公民館 ☎82-8075 FAX 82-2463

※図書館も公民館も皆さんの大切な施設ですので、利用後は各自でゴミの持ち帰りをお願いします。

※公民館・図書館・体育館・文化ホール等を含む各教育施設では健康増進法の改正に伴う受動喫煙防止対策として、「各施設敷地内を全面禁煙」としております。ご理解の程をお願いします。

問合せ 社会教育スポーツ課 文化係 ☎69-2247 FAX 69-2293

## 市長と 語ろう

## オール甲賀で考える 甲賀の未来タウンミーティング

まちづくりの課題などについて、広く皆さんから市長が直接意見を伺う場として、タウンミーティングを開催しています。昨年は、11月に各地域で5回にわたり開催し、237人の皆さんにご参加いただきました。

### 今回のテーマ 「未来のコミュニティを考える～みんなで災害に備えよう～」

皆さんからいただいた主な意見

- Q** 日常からの近所づきあいが大切だと再認識した。
- A** 防災に限らず、高齢者の支えあい、子どもの見守り、防犯、困窮など、身近な近所での「支えあい」や「気づき」の重要性を見つめ直す必要があります。市が進める「我が事・丸ごと」の取り組みは、「支え手」と「受け手」の関係を越え、地域住民の支えあいをオール甲賀で取り組むものです。
- Q** 「自助」「共助」の重要性についてさらに周知すべき。
- A** 阪神淡路大震災では、95%の人が自助・共助で助かっていることもあり、出前講座にとどまらず、今後はさらにきめ細かな周知に努めます。
- Q** 区・自治会の常会(役員会、隣組、ご近所の寄り合い)というシステムは、共助において、大きな意義を持っているのではないかと。
- A** 定例的に地域ごとに住民が集まる場は、区・自治会業務の軽減の流れから、近年減少傾向にありますが、地域の住民同士のつながりを確認する場として、有効な面もあります。特に「共助」の視点からは改めてその意義を見つめ直す必要があります。



▲各テーブルで意見交換

- Q** 子どもの防災学習に力を入れ、自らの身を守るようにすべき。
- A** 学校であっても常時、教員がついているとは限らないので、自分の身は自分で守るための教育が必要であると考え、各学校で子ども向けの防災パンフレットを活用し、防災学習をしています。さらに年3回の避難訓練や引渡し訓練なども行っています。
- また、学校に防災コーディネーターを設置し、研修などの取り組みを進めています。今後はさらに具体的なプログラムを考え、防災授業の時間をとっていきます。
- 今後は、さらに児童が「共助」について理解し、地域の中で助け合えるような心を育てる教育も必要です。



▲「オール甲賀の支えあい」について説明する岩永市長

#### 今後の取り組み

- ① 地域の実状に合わせた避難所を指定できるよう、防災計画の見直しに向けて地域住民の皆さんとの議論を重ねるとともに、民間施設を活用した避難所の設置を視野に入れ、企業への働きかけを行っていきます。
- ② 区・自治会などでの、ご近所の顔の見える関係づくりからできる日頃の見守りは、人口減少が進み、行政だけでは限界が見える時代であるからこそ、大きな意義が生まれてきます。災害時に限らない、地域の支えあいを進める「きつかけ」として、甲賀市災害時要支援者避難支援計画(個別計画)の策定に向けて、地域への支援を強化していきます。
- ③ 「自助」「共助」の重要性をさらに周知するため、自治振興会や区・自治会、消防団、防災士などの協力を得ながら、学区や町単位による比較的広域な防災機能の強化に向けて、検討を進めていきます。

問合せ 危機管理課 防災危機管理係 ☎69-2103 FAX 63-4619